

# Windmolen



ロッテルダム日本人学校

谷崎 城

## 南ホラント街歩き

私の住んでいるロッテルダムは、南ホラント州に位置しており、12州の中で最も人口が多いです。今回は、この南ホラント州にある他の魅力的な都市をいくつか紹介したいと思います。

### デン・ハーグ (Den Haag)



アムステルダムは憲法上の首都ですが、政治の中心はここデン・ハーグにあります。

ビネンホフと呼ばれる建物に中央官庁が集まっていて、“騎士の館”が国会議事堂となっています。

このビネンホフの裏手に、マウリッツハウス王立美術館があります。

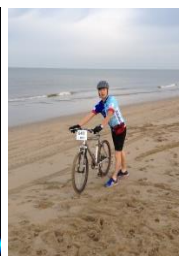


この美術館には、フェルメールの『真珠の耳飾りの少女』『デルフトの眺望』といった珠玉の名画が収蔵されています。“ミュージアムカルト”という年間パスを持っていると、オランダの主要な美術館・

博物館に自由に入ることができます。場所によっては、並ばずに優先的に入れてもらえるので、大変お得です。

中心部からトラムで20分くらいのところに、リゾート地“スヘフェニンゲン”があります。オランダに住むほとんどの日本人は“スケベニンゲン”と呼んでいます。

夏になると観光客でかなり賑わいます。北海の海はキレイかというところですが、水遊びと日光浴を皆楽しんでいます。海岸通りに、オランダっぽいモニュメントがあります。ハーリング(通信 No. 3 参照)を食べている様子ですね。



クアハウスはスケベニンゲンのシンボリックホテルで、ここを中心にレストランやショッピングセンターがずらりと並んでいます。

夏には国際花火大会も開催されます。海上の花火は何とも幻想的です。

余談ですが、ビーチをひたすら走る自転車レースに参加しました。砂の上は負荷が大きく、ヘトヘトでした。

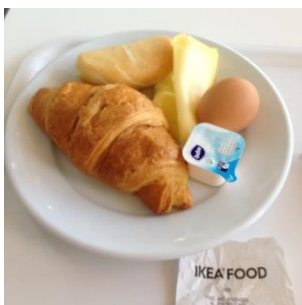
## デルフト (Delft)



デルフトは、こぢんまりとしていますが魅力あふれる街です。フェルメールが生まれた街でもあり、絵に出てきそうな街並みが続いています。街のシンボルでもある新教会の内部には、国王家の人々が代々葬られています。天気良ければ、鐘楼から街が一望できます。

デルフトといえば、青を基調とした『デルフト焼』という陶器が有名です。工房には、レンブラントの“夜警”が、『デルフト焼』のタイルを敷き詰めて再現されていました。ここでは、絵付け体験もすることができます。なかなか職人さんのようにはうまくできませんでしたが…。

あまり知られていませんが、大手家具店のI K E Aの本社がここデルフトにあるのです。店内のレストランでは、1ユーロで朝食を食べることができます。



## ハウダ (Gouda)

ゴーダと聞いたら、ピンとくるのではないのでしょうか？そうです、あのゴーダチーズのふるさとです。かわいらしい市庁舎がマルクト広場に面していて、この広場でチーズ市が開かれます。私としては、この近郊のチーズ農家で買ったチーズが、忘れられないほどおいしかったです。濃厚な Oude Kaas(長期熟成タイプ)や、マイルドな Jong Kaas(短期熟成タイプ)など、熟成期間によって全く味も違います。私は中間タイプが好きです。



## ドルドレヒト (Dordrecht)



ロッテルダムの南に位置し、水上バスでも行くことができます。いくつかの川の合流地点にある街なので、昔から貿易港として栄えてきました。市庁舎は運河の上にまたがって建っています。

この街はオランダでも屈指の規模のクリスマスマーケットが開催されます。多くの露店が建ち並び、

人々で溢れていました。サンタさんのパレードと温かいグリューワインで、心も体もほっこりしました。

南ホラントだけでも魅力満載です。次回は、今回載せられなかった都市を…